

2013年3月12日・読売新聞 長谷川 權さん担当「四季」欄では

はこぶね ひ
竜天に方舟を曳き昇りゆく

なが せとおご
永瀬十悟

方舟に乗ったノアの家族と動物だけが生き残った。それは大洪水の時の話。その方舟を竜が引いて天へ昇ってゆく。これは原発事故に苦しむ福島の人々の句。安らかに住める土地は、もはや地上にはないというのだ。句集『橋籠』から。

と紹介されています。